江南広報

発行所　江南村役場
発行人　松本芳治
印刷所　秀英舎印刷

住民登録による人口のうごき（40.6.1）

人口	7,621
男	3,788
女	3,833
世帯数	1,465

六月のメモ

一日　気象記念日、電波の日
　　写真の日
二日　横浜港開港記念日
四日　歯の衛生週間（十月まで）
七日　計量記念日
十日　時の記念日
十一日　入梅
二十日　父の日（第三日曜日）
二十一日　夏至
二十五日　救らいの日

合併10周年　庁舎落成　全村水道完成　記念式典

6月18日中学校体育館にて挙行

式辞

江南村長　松本芳治

皆さん、本日は江南村十周年、簡易水道全村に完成、役場庁舎竣工式に、よくおいでくださいました。厚くお礼申し上げます。

昭和三十年一月一日の十年前を静かにふり返ってみると、氷にとざされた水面が太陽に輝き、厳寒の中にも、この朝から新しく江南村が誕生したと思いますと、ほのぼのと心の暖まる感じに打たれたのでした。この時の産業役は、合併委員二十名でしたが、その代表者として元村長松本明治さんほか私たちを含む八名で、一回ほどの会合で江南村が生まれ、大きく、元気な姿にて十年間を歩き続けてまいりました。

初代村長の長谷川喜一郎氏により、江南村の諸計画が樹立され、統合中学の敷地の買収に成功し、そのかげには当時教育委員長の松本明治さんのなみなみならぬ協力があり、村長とともに再三上京し農林省等に働きかけ承認されたのです。その熱意に対しては深甚なる敬意を表します。朝二著四郎氏のこの大事業はできなかったのです。

統合中学校の建設は、敷地一七、九八四坪方㍍で村の中央部に移転して、義務教育の充実をはかり村民の一体性を考え、校舎および体育館などの建築資金蓄積の目的にて、年度予算に計上するとともに継続事業として計画をたてて、校舎、給食室、環境整備、運動場の拡張、石垣施工など総工費五千八百余万円、備品を含み六千万円を越える大事業は、昭和三十八年度を最終として完成いたしました。

昭和三十八年二月はじめに村長職を引き受けてより、村民一体となり、役場職員打って一丸となって村長の方針に基づき、誠心誠意日夜健闘しておる次第でございます。

村長になってからの事業の一部を申し上げて、心を新たにして緊禅一番、今後最大の努力を傾注したい存じます。

先ほど申し上げたように中学校諸設備、体育館の建築委員長として喜びにたえません。

一、幼稚園は、南、北小学校内に県内唯一の村立幼稚園を設立して三十九年度第一期百五十名の卒業児をみ、幼児教育の成果は住民の一大福音として、喜び迎えられました。

一、南、北小学校舎も、明治末期および大正初期の建築であるので老朽化したので、補強および内外部の塗装を実施して、一躍新校舎なみに昨三十九年度に完了いたしました。

一、小中学校にプール建設を、昭和三十九年度に東京オリンピックを迎えるにあたり、PTA関係に呼びかけプールの必要性を話し合い、村長と学校関係者にて一致、着工し、七月に二校ともいずれも竣工するにいたり、児童生徒の体位向上のため期して待つべきものあることを確信いたしますとともに、父母の喜びはその極に達しました。

一、道路工事については、住民の交通を至便にし、文化産業の交流を促進するため、新設改良を計画し村第一号道路として中学校通学道路の舗装を計画して、既に基礎に砕石などを引きならし、路盤工事を完了しております。この長さ一、二二三㍍であります。次に三本地内富田線より押切に至る松本村長側の道路三六九㍍も舗装路盤工事を完了そしてまた、小江川地内松山線より大沼センター前より南小学校に至る道路一〇五㍍も舗装路盤工事を完了、近日中に三路線は簡易舗装される予定です。

新規および道路拡幅工事については、小江川地区において三路線一、七三〇㍍、野原地区においては新規路線一、九二五㍍完成し、櫃春および上押切に至る一部堤防利用新規バス路線七五七㍍を完成、御正新田地区の改良工事二路線あわせて一、七九五㍍を完成、成沢地区の改良としては河川、護岸をあわせ道路四〇〇㍍を完成いたしました。

上、下押切地区道路工事としては路肩をコンクリートおよび玉石積に一七五㍍行ないました。

三本地区においては、通学道路九〇〇㍍の改良工事を行ないました。以上昭和三十八年、三十九年、四十年の五月までの改良工事の延長は、あわせて九、五六九㍍で、工事費としては千九百五十万余円になります。

○県道については、鴨田代議士のお骨折りで小川県道の御正新田、成沢地区内六五〇㍍は完成し、なお本年小江川地区内を含み一、五〇〇㍍を施行できることになっております。

なお、富田線旧役場前の舗装も二五〇㍍完成し、また、ながい間懸案の上新田地内県道新規工事も三十九年度に開通をみました。

玉川線、野原地区内の道路改修は繰越を含んでの大工事も、本年度完成をみますことは地元土木事務所長、県道路課長のご計画に対し感謝申し上げる次第です。

名実ともに県、村道の工事もだいたいは終ったようにみえますが、なお村内県道および主要村道の舗装を実施することにより一層の交通文化の発展に寄与するものと考えます。

去る六月五日午前十一時より購入委員会を設置し小松製作所のモーターグレーダー一台を購入いたしました。これにより砂利道の路面はなめらかになり一層便利になります。

一、防犯灯の設置については明るい村づくりの施政方針として村内二百有余個におよぶ点灯を実現、夜間交通の安全をはかりました。七月に二灯の割合で東電の調べでは日本一の明るい街灯村とのことです。

一、防犯連絡所を各区に設置いたしました。

一、社会福祉事業としては、三十八年度より七十才以上の敬老年金制度を確立いたし、村主催敬老会において支給し喜ばれております。身体障害者協議会の設立、母子福祉会設置、母子愛育会の誕生など真にかゆいところに手のとどく施策をということで、各種の福祉事業を育成してまいりました。

一、検査審査会江南支部協力会を設置いたしました。

一、商工会の設立をいたしました。

一、御正用水路工地改良区、南地区用水沼、軍人恩給連盟、勤労者協議会などに対する育成助成金交付を行ないました。

一、簡易水道事業の設置については、当初県衛生部長より江南村に水道を設置したらとの申し出があり、急拠議会を召集して議員の同意を得、松本みずから委員長となり最初南地区に着手完成し、昭和三十九年九月北全区に着工いたしました。そしてこのたび全村完成をみたのです。村民の保健と湯水対策および火災の不安から守るために、消火栓を全村九十箇所に設置防火対策の強化につとめました。

南、北水道地域においては、今日もなお増設、新規申し込みがある現況です。

これを見ても水道がいかに必要かということを如実に物語っているのです。水道の設置をいち早くいたしたことは、本当によかったと今さら感に打たれた次第です。

この工事については南は日本水道、北は昭和水道および須田工務店において請負ったものであります。

一、役場庁舎の建設については、合併十年前の御正村役場を使用していましたが、地方自治の確立とともに村の事務は急速に拡大し、手狭は過去何年かの悩みでした。村民にも不便を与えているとともに、対等合併をしながら前の御正村役場を使用していることは、田小原地区の住民に申しわけなく、村の中央に建設することが住民に対する善政と存じ、建築委員八十八名を組織して検討を行ない、幸いにも土地所有者の了解が得られ、用地購入を終了して三十九年、四十年度の継続事業と定めたのであります。

昭和三十九年九月競争入札にて熊谷市江田組社長と金参千六百八拾万円で請負契約を結び、十月一日着工、しかしながら天候その他の準備などでおくれがちであったが、その後職人の努力の結果により一大事業は本日完成、近代的な新庁舎で村民七千六百有余名の中枢的なサービスセンターとして、輝かしいスタートをきることができますことは、建築関係者をはじめ村民とともに喜びにたえないところであります。

敷地面積　六、八〇六平方㍍
構造　鉄筋コンクリート二階建
建築面積　延一、〇五八平方㍍
建築費　三、八〇〇余万円
設計者　大川光英氏
請負者　江田　進氏

以上の構造にてめでたく完成いたしました。

一、工場誘致については山鉄工所、日兼産業、協和プレス、深沢製作所、学校関係としては自動車学校、立正大学、県立農業高校教育センターなどの建設が着手され、産業文化の一大飛躍をいたしました。

これらは工場誘致委員の最大の努力と、地主各位の協力の結果、大工場の進出で、村内各所に鉄骨鉄筋の建物が見られてまいりましたことは、心から喜びにたえません。

いずれにしても十年間、特にここ二年有余にしてこの発展は、村民ひとしく村長の政策に共鳴して努力願いましたたまものと存じ、心からお礼申し上げる次第です。

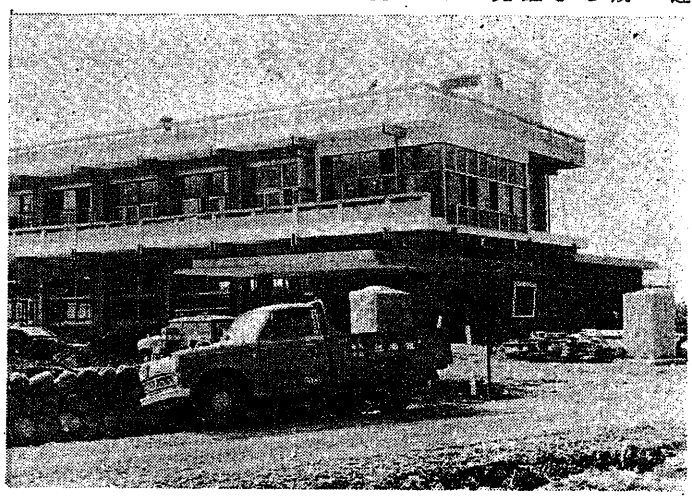
納税の面についても村、県民税等は郡下一とのこと、誠によくその義務を果す村民として、県より表彰されました。

また先般は、道路面にも郡下一としての表彰を受け、国民年金の成績もこれまた優良村として表彰されました。

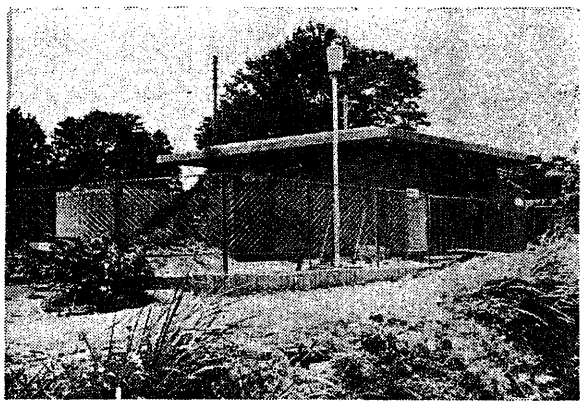
過ぐる新潟の災害の節は、いち早く稲苗をトラックにて送り、新潟市長より感謝状をおくられるという人情豊かな村民であることを立証されました。

申し上げればきりがないほどのご協力を願いましたことを感謝いたして、今後さらに実施いたしたいことは、南小学校の講堂兼体育館の建設、北小学校の校舎の改築また農協の合併、有線放送の実現、県道、主要村道の舗装完遂、用水路用水沼の改修など、農業に直結する工事もまだまだ結ついた感じですので、是非とも皆々様のご協力により新村計画にのっとり、着々実施いたしたいものであります。

本日はご来場の県および各種団体の皆様方が、村民各位に厚くお礼申し上げますとともに、皆々様のご健康と発展をお祈りいたしまして式辞といたします。



㊤完成した役場庁舎
㊦完成した水源井



合併十周年を迎えて

議長　小林　正

合併十周年祝賀と、役場庁舎落成祝い、簡易水道全村完成祝いを行なうことができるようになったことは、まことにご同慶にたえません。これらの事業を企画遂行し得たことは関係各官庁のご指導と、村長をはじめ幾多の人々のなみなみならぬ努力と、これらの事業を請負われた業者のかたがたのご労苦によるもので、深く感謝しなければなりません。

合併十周年にして江南村の発展は実にめざましいものがあり、今また村のほぼ中央に堂々たる役場新庁舎が建設されたことは、村の原動力ともなってますます村政執行のセンターとなり、その偉力を発揮することでしょう。

もちろん、村の発展は一朝一夕に成るものではありません。旧御正村役場を建設された当時の為政者の努力にも、あらためて感謝しなければなりません。村の発展のために貢献された先輩の功績が蓄積されてこそ、今日の江南村が形成されてきているのであり、今後もその努力が続けられて行かなければなりません。

南北両地区の簡易水道も完成しお待水道の恩恵に浴することのできるようになったことは、これまた村民にとっては、より文化的生活の行なわれる一助ともなり、保健衛生的見地からもまことに結構なことです。

役場新庁舎にしても、水道にしても村民の要望するところを入れて、松本村長の企画実施されたことのあり、その功績並びに恩恵は、むしろ今後において実証されることと思います。

しかし、村民の一人一人として安定した生活が営まれるようにするためには、いかなる施策を講ずべきかを私たちとしては常に配慮しておかなければならないと思います。現在村民は、何を一番望んでいるか。合併十周年記念の式典が行なわれる時にあたって、私たち議員は特に冷静に過去を反省し、今後への心構えを持つべきでしょう。議員みずからの品位を高めおのれを修め、寛容協調の精神を持って、村民に安心して村政を任せられる議会政治が運営されて行くよう、努力しなければならないと思います。

村の発展のためには、私たち議員は特に村民の代表として、層一層努力して行かなければなりません、村民のご協力を得てますます愛村の念に燃え、その職責に邁進したい所存でおりますから、今後ともよろしく指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

祝典によせて

小林倭子

合併十周年、水道、役場庁舎の三つ重ねの祝賀は村民協力の結実の実証である。村の事業には村民の協力が必要だ。

童謡ドングリ

ドングリコロコロドングリコ
お池にはまってサア大変
ドジョーがでてきて今日は
皆さん一緒に遊びましょー

（註）ドジョーがおこりもせず、反対に皆さん仲良く遊びましょうと言った。耳はたで唄われた時トーチャンは何と聞くでしょうか。

道路一本について考えて見ても道を利用してわが店に買物にくる客もあり、また自分も道を使用して仕事をしている。道は国のものだが村で管理しているのが村道で、村で修理はしてその利益は村民がうけているのだから、道路の仕事には協力しずにはいられない。村に非協力で他地域に転出しても、子孫を残し財産を村に持っていれば村の世話になるのが当然で、村がイヤなれば村を去るのみだ。村を去ったからとて子女や孫娘が村に残っているのをいかにせんやだ。学校役場組合などにつき考えて見ても同じである。

一、水道に政治の良い味がある

水道が引け、電気やプロパンガスのおかげで老人でも自炊ができ岩山地帯でも商売ができる。暮しが安泰になれる政治は、台所に結びつくというのはこのことである。

赤穂侯はいち早く水道を布設した。城下町と城主との結びつきは特別だったから、藩侯の短慮なところがあったことは、とがめるどころか義憤に燃え立った四十七士はそのあらわれだ。しかし、大野九郎兵衛がいたことも忘れられない。

二、庁舎の偉容

個人の住居は「豚をいれるに足ればよい」今でも学生の下宿や寮はせいぜい二畳ぐらいで、六畳に一人は御の字の方だ。自分でがまんができればよいのだ。町村や、府県の庁舎はがまんだけですまない。人間存在の戸籍、財産台帳それに人間の自由や権利存在の重要記録が保管されているからである。耐震耐火の防備の要さいでもある。寺院に借住居の戸長役場が明治十年代の教部務の合併により独立の役場を持つようになり、昭和二十年代の町村合併により近代化の庁舎を必要として、合併前の旧村の力ではおよばない庁舎ができたのは歓喜に堪えない。ここで個人のふところあい（経済）と町村県国のふところあい（財政）とにふれて見たい。

経済（個人のふところあい）

財政（町村、県、国のふところあい）

収入制出
歳出制入

（註）個人経済では収入を考えて支出をし、財政上では緊急の事業を先に考えて事業を計画し、それに要する金作にとりかかるのが原則である。

いずれも一理ある。かつて政友会は募債してもの福利事業は実行せよというに対し、憲政会は金作ができるまでは事業を差控えると主張したものだった。前者が募債主義後者が非募債主義で反目し合った化して現代の自民党が生まれたのである。話の広場というは「限度」であった。募債非募債ともに限度の前には折合うのは当然だからである。橋が流れ交通止めになった、金がない交通止めも金のできるまでというわけにゆかない、また融資を受けるにも限度がある。

五年七年の間には返済ができる力があるかないかの限度こそが話の広場である。

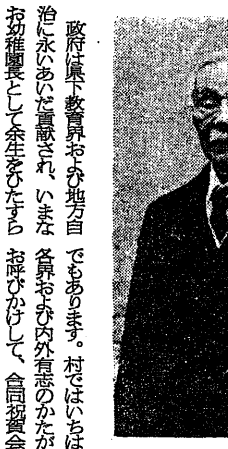
三、十周年祝賀式典

時の経過（歴史的）が十年目だとする十周年記念式がないでもない。江南の式典はこれとは違って合併した力が育って旧村時代の力ではおぼつかない。水道や新庁舎落成が合併した力の実現で、合併の地は熊谷、深谷のベットルーム効果の実現を祝う式典であって実に慶賀に堪えない。二十年三十周年の効果発揮は祈願するのみで祝典にひたることは私にはできない。

町村合併は一時終わった。自主外交を訴える国民の要望があるが自主独立を願う声だ。ユーゴーもドミニカも小独立国だ、朝鮮も南北にベトナムも終わりには南北にわかれるかも知れない。ほかに依存して大国たらんとするよりは小なりとも、自主自律の気概を持ちたい。由来江南は花の魁の地である皆さんと共に話の広場で出合い行く先をまちがわないようつねに心がけたいものである。やがて江南の地は熊谷、深谷のベットルーム となるのではないかしら、それには住みよい良風美俗の土地柄がほしくなるのでなければなるまい。

名誉村民 小林翁に叙勲

祝賀会催される



小林翁

政府は県下教育界および地方自治に永いあいだ貢献され、いまなお幼稚園長として余生をひたすら教育のために身命を賭しておられる小林倭子翁に対して、このたび宮中において勲四等瑞宝章の栄誉に叙せられました。

翁のご親族のかたがたのおよろこびはもとよりでありますが、翁を名誉村民として仰ぐ本村の誇りでもあります。村ではいちはやく各界および内外有志のかたがたにお呼びかけして、合同祝賀会を去る五月二十六日午後二時より中学校体育館において計画いたしました。当日は折悪く雨天でしたが、予定人員よりはるかに多い三百有余名のかたが出席され、数々のお祝詞、お祝の品々のご披露があり、いまさらながら翁の人徳の深きを痛感させられました。式の終りに村長の音頭により、叙勲を祝し、ご健康をお祈りする万才三唱をおこなった。

盛大な祝賀会

ちなみに翁は今年米寿の賀をお迎えされる高令にありますが、若い人達が顔負けするくらい心身共にご健在で勤務のかたわら学問の研究に読書に、後進のよき相談相手として意欲的にご活躍されております。

参議院議員選挙

七月四日に投票

いよいよ参議院議員選挙がきたる七月四日執行されることになりました。本年は、国民参政七十五周年、普通選挙制度施行四十五周年、婦人参政二十周年と日本選挙史上まことに記念すべき意義ある年であります。

参議院は定員一五〇名で、全国区から一〇〇名、地方区から一五〇名の議員で構成されています。

気軽に投票においでください。

明るく正しい選挙の歌入選歌

「きれいなせんきょ」

一、そらはれてる　すんでいる
あのそらのよう　けがれない
あかるい　せんきょで
よいひと　えらび
じあわせのくに　つくろうよ

二、はなはさいてる　わらってる
あのはなのよう　うつくしく
きれいな　せんきょで
よいひと　えらび
へいわのくにを　つくろうよ

三、とりはないてる　うたってる
あのとりのよう　ほがらかに
ただしい　せんきょで
よいひと　えらび
たのしいくにを　つくろうよ

参議院議員の任期は六年で、三年ごとに議員の半数が改選されます。

今回の選挙は農繁期に行なわれるため大変いそがしい時期でございますが、有権者のかたがたの熱意をもって、従来以上の良い投票率を上げ得られるようお願いいたします。

国、県、市町村選挙管理委員会は各種団体の協賛を得て、明るく正しい選挙運動を推進いたしております。皆さんにもぜひとの運動にご協力願って、全員投票されますようお願いします。

投票所は従来と同様、村内四カ所に設置し、作業衣（農作業のまま）のままで投票所にはいれるよう設備いたしておりますから、気軽に投票においでください。

みんなの防犯のために

防犯連絡所設置さる

防犯連絡所は、犯罪のない明るい村づくり、をすすめるために設置されました。犯罪を村からなくすために最もたいせつなことは、一人一人が「自分自身は、自分で守る心がまえ」をみんなが持つことだといわれております。

もちろん、不幸にして被害にあった場合、警察は手をあげて犯人検挙にあたりますが、犯人にや

そこで防犯連絡責任者のかたが、連絡をとって「自分自身は、自分で守る心がまえ」（これを自衛防犯といいます）をもって、犯罪のない明るく住みよい環境をつくるために協力を願うものです。

防犯連絡所には「江南村防犯連絡所」という標札がかかげてありますから、次のような場合には連絡またはご相談してください。

1、犯罪におかされやすい場所、条件を認めたとき、
2、ぐれん隊のたまり場を見つけたとき、
3、不審者の立ち回りがあったとき、
4、不幸にして犯罪の被害を受けたとき、
5、防犯灯など防犯施設について意見があるとき、
6、防犯診断、座談会など警察官の出席を求められるとき
7、その他防犯上の意見、要望があるとき

江南村の防犯連絡責任者のかたがたは次のとおりです。（敬称略）

○成沢　吉田八十市、萩原貞之
水野勝吉、瀬山茂三郎
○三本　長谷川喜三郎、長谷川福一
○上新田　反町宣次
○上押切　笠原寿郎、新井政男
○下押切　持田宗昌、大島正雄
○樋春北　馬場幹一、平山友安、小島孫一
○樋春南　鈴木知作
○御正新田　福島芳雄、折川高一
舟橋近義、橋本安三
○須賀広　吉田竹次郎、高橋文夫
岡田光恒
○野原　神谷政義、岡田幸治、山口竹続
○小江川　野口理一、岡部市作、堀覚二郎、松本文治
○塩　中村芳三
○板井　富岡寿郎、宇治川一蔵
○巣　柴五三郎
○千代　寺山高治
○畜産試験場　入江壮
宇治川貞松

緊急の場合の連絡は、電話あるいは口頭で熊谷警察署か、もよりの駐在所、またはパトロール、その他勤務中の警察官にお願いします。

連絡要領は

「モシモシ警察ですか、今、変な人が押売りにきて困っております。すぐきてください」

……ガチャン……

こういう警察への連絡がときにはあるそうですが、せっかくのご協力にも、警察官がどこへ行ってよいのやらさっぱりわからず、困ってしまうことがあるそうです。

連絡されるときにはまず、連絡者の住所、氏名（私は江南村○○番地の「江南花子」ですが）を云ってから、内容をはっきりと、

1いつ　2どこで　3だれが
4だれに　5何をしたか

○要点だけを簡単にお願いします

◉熊谷警察署の電話番号は、

緊急電話（熊谷局）一一〇番
普通電話（熊谷局）
四一番・一〇八九番
交換台
一一四番
受付及び交通免許
一九一七
昼間の交通事務

ぼくらは安全交通

みどりの腕章つける

横断する一年生

まっ白い埃を追いつぱい吹き上げて自動車が二台、続いてまた一台、その合間にたんぼと畑にはさまれに通学道路から、小さな小学生が三、四人連れれて立ち止まった、小学生はてんでんに右と左を見て、自動車の来ないのを確か めると、互いに右手を上げて道路を横断した。小学生の上げた右腕には、交通係のお巡りさんと同じ青地に白線が二本入った腕章がつけてある。「ぼくらは安全交通！」小学生は交通腕章を右腕につけて、登校に、下校に、立派に道路を横断し、除行し、交通道徳を守っている。

これは最近自動車、オートバイなどの交通量が非常に多くなり、それにともなって交通事故も年々増加し、学童の交通事故もきわめて多く、暗現することができぬところから、先日埼玉県警察本部と県交通安全協会で、学童用の交通腕章を作って、各小学校一年生に配布されたものです。「子どもたちを交通禍から守ろう。」とまず子どもたちの交通道徳を身につけさせると共に、運転者に注意を喚起させるための手段に考案されたもので、学児にとってもまたおとなたちにとっても、大きな指針となっております。

みんなそろって安全交通！

▽夏の衛生△

夏は一家そろって海や山に出かける楽しい季節ですが、この時期には恐ろしい伝染病が流行しますですから楽しい夏が、悲しい夏にならないようお互い健康に気をつけたいものです。

そこで、六月二十一日から七月二十日まで「夏の健康を守る運動」が全国的にくりひろげられます

これは、夏の健康について認識を深めてもらうと同時に、伝染病の予防、あるいは食品の衛生的取り扱いなどにお互い気をつけようということでもうけられたものです。

夏の健康で一番注意しなければならないのは伝染病です。夏の伝染病でおもなものは赤痢、日本脳炎、ポリオ（小児マヒ）などですが、これらを未然に予防するには食物を衛生的に取り扱ったり、カやハエを退治することが、まず第一です。

そこで、夏を健康に過ごすためには、栄養をゆうぶん取り、体力を増強することはいうまでもありませんが、お互い生活環境を衛生的にし、カやハエの発生を防ぐことが必要です。

さらに、料理をする人が、食物の取り扱いに気をつけ、食品なども、衛生的な商店で買うようにしたいものです。

そして、現在の社会生活では、伝染性の病気は、みんなが協力しなければ予防できないのだということをお忘れなく。